

2022年度 足立区 保育研修報告

幼児教育研修（保護者支援・地域支援）

受講者数 51名

日時 令和4年10月13日（木） 15:00～17:00

場所 竹の塚地域学習センター

講師 鎌倉女子大学 児童学部 児童学科 准教授 浅井 拓久也 氏

【内容】～保護者対応と地域支援～

保護者支援では、保護者を取り巻く環境や子育て支援の原理・原則を理解し対応することが大切です。問題解決にあたる時は、どこに問題があるのか傾聴しながら現状を把握し、問題の本質を解決していきます。また、見方を変えることで結論が変わるといった子育て支援に活かす視点や方法、子どもの育ちを共に喜び合えるドキュメンテーションについて学び、地域における保育施設の役割に対する理解を深めます。



【受講者の感想】

* 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- ・子育てを取り巻く環境について理解した上で、保護者が抱える問題の本質を考えていくという原理・原則を学んだ。自分では、受け入れて共感しながら対応するようにしていたが、結論を急いでいたように思う。保護者の話を丁寧に聞き、問題の本質に寄り添っていききたい。
- ・子育てを取り巻く環境から子育て支援に活かす方法や視点を学べてよかった。悩みや困り事を聞いたときに、自分が思う常識や経験からの知識等で話を進めるのではなく、何が言いたいのか、どうしたら良いのかという現状を把握し、問題の根っこを一緒に見つけ、解決し信頼関係を築いていきたい。
- ・自分の中で当たり前で常識だと思っていることを、無意識のまま保護者に伝えてしまっていることに改めて気づいた。今までの経験からの解決策ではなく、保護者と向き合い視点・方法を慎重に見極め解決していけるように対応していく。良い気づきとなり、他職員にも伝えいろいろな角度からの見方ができるようにしていきたい。
- ・子育て支援をする中で、ドキュメンテーションを活用すると良いということ。日中の子どもの様子を記入するときには、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」や健康・人間関係・環境・言葉・表現の「5領域」に着目し子どもの育ちを読み取るということを学んだ。
- ・子育て支援に関すること全てが地域資源なので、親子へと繋いでいきたい。